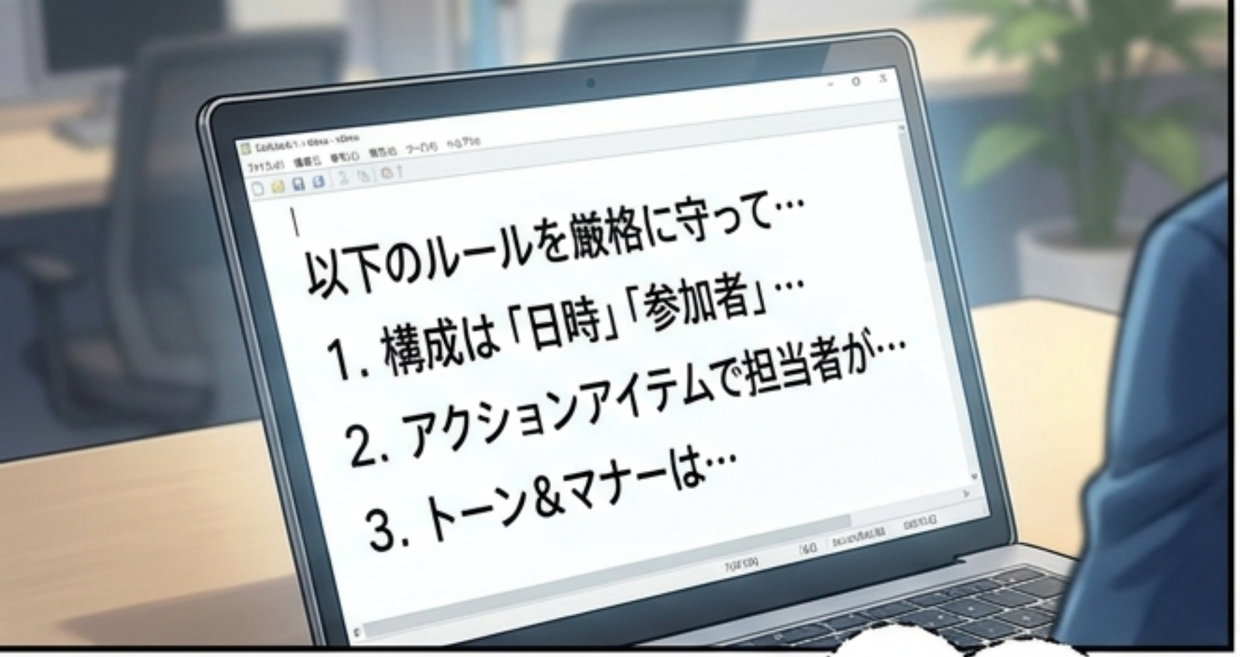
【超実践ガイド】Claudeの「Skill（スキル）」機能で日々の定型作業をまるごと自動化



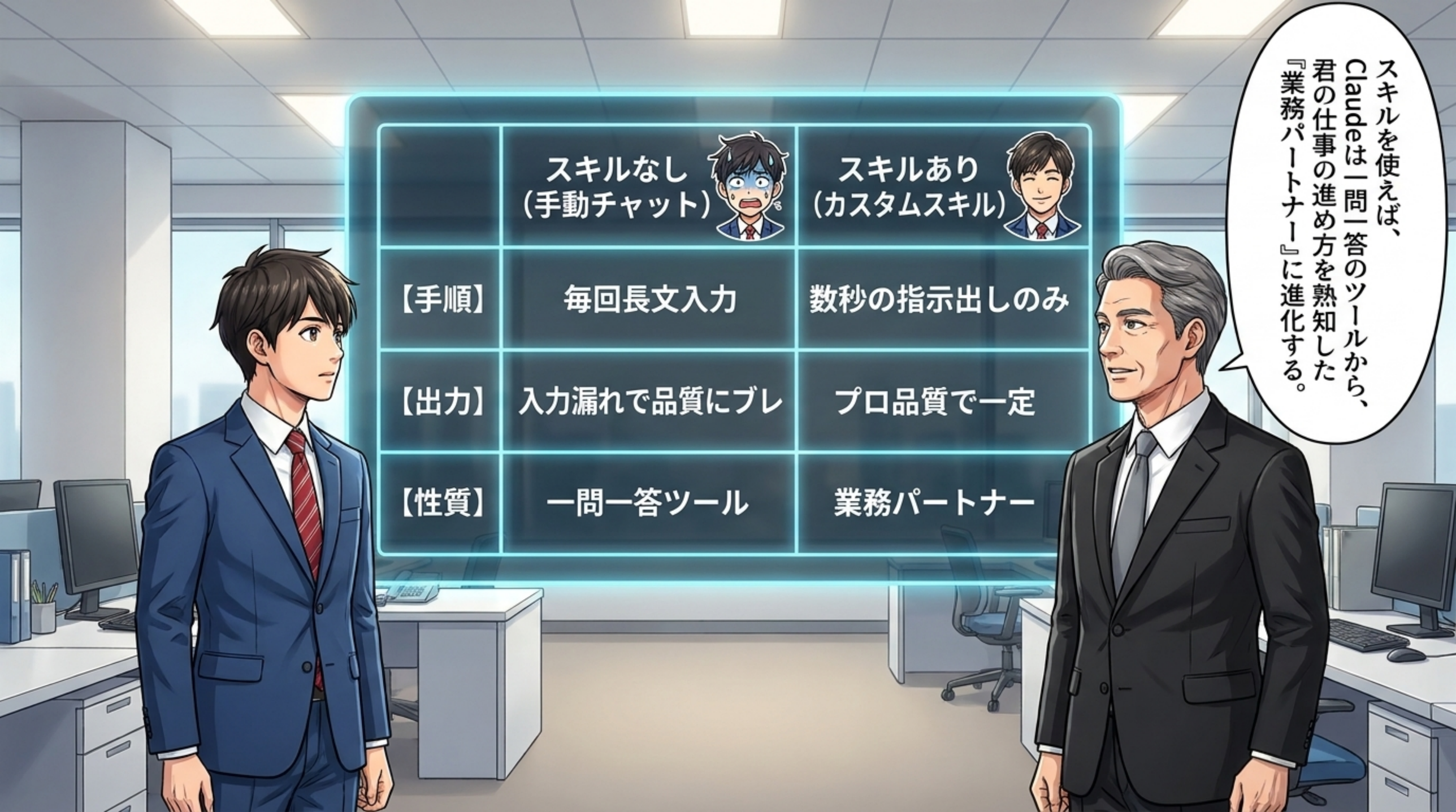

以下のルールを厳格に守って…
1. 構成は「日時」「参加者」…
2. アクションアイテムで担当者が…
3. トーン&マナーは…


また今日も、
まったく同じ前提
条件とルールを手作
業で打ち込むのか…
時間の無駄だ…


はぁ…
26歳、始の
男を登場。
今日もまた、
この時間がやってきた。


時間と手間の浪費
(毎回のコピペで数十分消費)
品質のブレと指示漏れ
(フォーマット崩れ)
チーム展開の壁
(プロンプトの属人化
毎回長文を打ち込む運用には、
3つの大きな壁があるんだ。


【Skill（スキル）とは？】
独自の作業手順、参照ルール、
出力フォーマットをあらかじめ
Claudeに記憶させ、
必要な時に一発で呼び出せる
「自動化パッケージ」。
その手間を根本から解決するのが、
Claudeの『Skill（スキル）』機能だ！


スキルなし
（手動チャット）
スキルあり
（カスタムスキル）
【手順】
毎回長文入力
数秒の指示出しのみ
【出力】
入力漏れで品質にブレ
プロ品質で一定
【性質】
一問一答ツール
業務パートナー
スキルを使えば、
Claudeは一問一答のツールから、
君の仕事の進め方を熟知した
『業務パートナー』に進化する。

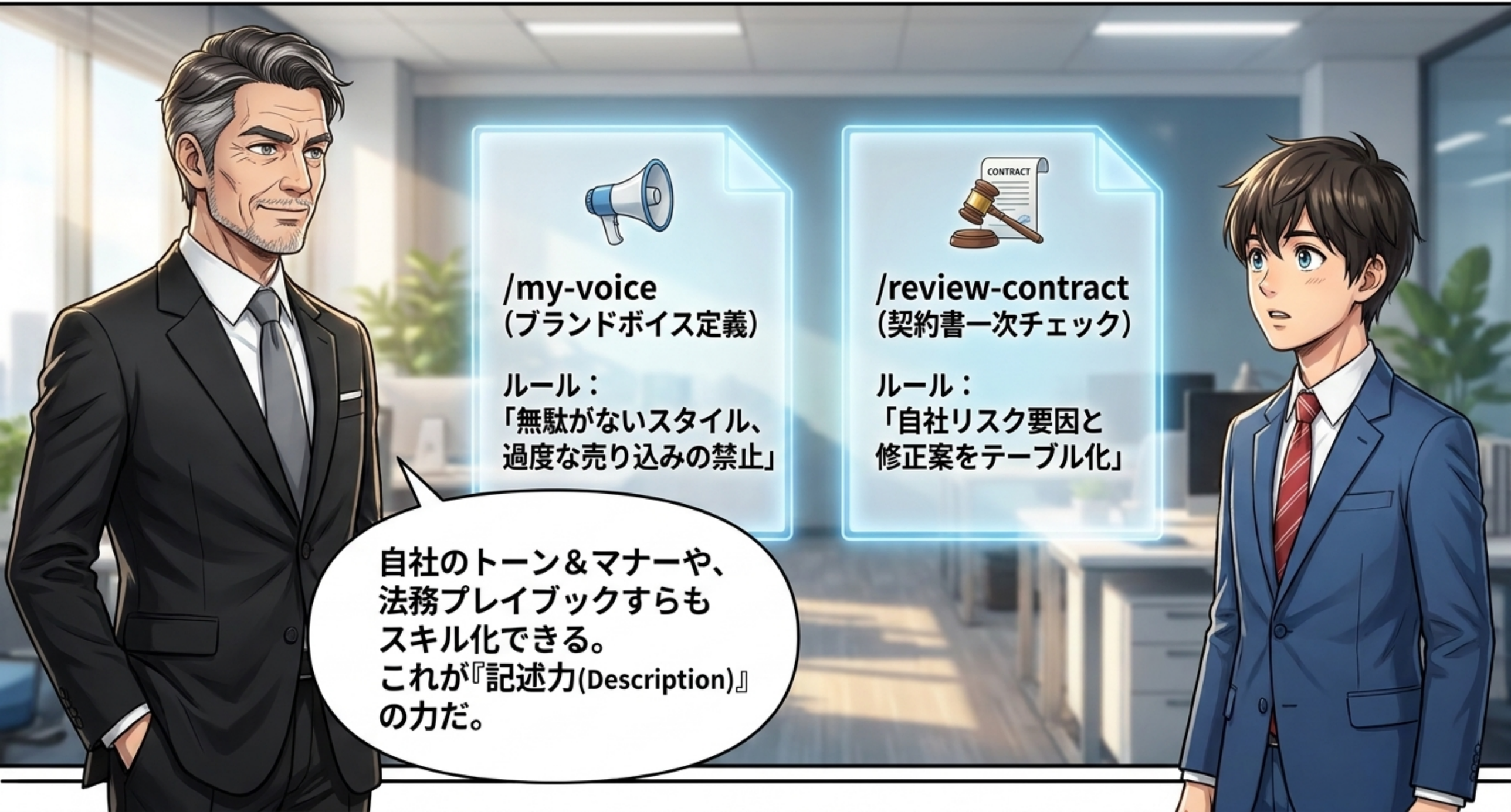

毎週の議事録を整理する
スキルを作って…
YAML/Markdown
定義ファイルを作成しました
(meeting-minutes.md)
meeting-
minutes.md


不要だ。
普段の手順を自然な日本語で
Claudeに伝えるだけでいい。


でも、
プログラミングなんて
書けませんよ？


設定 > Skills > Upload skill
Upload
あとは設定画面から
ファイルを登録する
登録するだけでね！
注意しろ。
ただ登録するだけでは
起動しない。
Description（説明文）に
『WWC』を必ず
書くんだ。
・W (What) ＝ 何を
・W (When) ＝ いつ
・C (Coverage) ＝ どの範囲で
※抽象的な説明ではAIは迷う！


AIを使いこなす上で
最も重要なのは
『やってはいけないこと。
(Negative Constraints)』
の明記だ。
制約がAIの
迷いを無くし、
ハルシネーションを
防ぐんですね！
なるほど！
✕捏造の禁止
→「不明な場合は
『要確認』とせよ」
✕汎用デザインの回避
→「ありきたりな企業ブ
ルーの配色を使うな」


/my-voice
(ブランドボイス定義)
ルール：
「無駄がないスタイル、
過度な売り込みの禁止」
CONTRACT
/review-contract
(契約書一次チェック)
ルール：
「自社リスク要因と
修正案をテーブル化」
自社のトーン＆マナーや、
法務プレイブックすらも
スキル化できる。
これが『記述力(Description)』
の力だ。


おお！Claudeが
指示通りに自社ルールを
読み込んで考えてる過程
過程（思考プロセス！）が
見える！
Claudeの思考プロセスを表示中
Loading Skill...
自社ルールをロード中...
禁止事項を適用し、
出力フォーマットを整形中...
/draft-content`
添付のメモから
記事を作成して


これだけではない。
Claude Coworkと連携すれば、
ローカルファイルや外部ツールと
スキルが繋がるぞ。
1
Salesforceデータから
パイプライン分析
2
Slackの障害ログから
インシデント報告書作成
Local PC
(作業フォルダ)
Claude Cowork
Connectors
(Slack / Salesforce / Drive)


PCのスリープを防ぐ『keep-awake』とアクセス権限の設定だけは忘れるなよ。
朝出社したら、勝手に仕事が終わってる…！
PCのスリープを防ぐ『keep-awake』とアクセス権限の設定だけは忘れるなよ。
Task Completed.
File Saved.
/schedule`
平日の毎朝9時に
`/draft-content`
を実行


定型業務をAIに委任 (Delegation) し、君の貴重な時間は、
人間にしかできない創造的な意思決定に注ぐんだ。
さあ、今日から始まる『作業からの解放』。
まずは1つの繰り返し作業をスキル化してみましょう。